

授業科目名	動物人間関係学	科目コード	263008		
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグ インストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	島田夢香				
	実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ) 実務経験内容 愛玩動物看護師 動物病院にて7年間動物の診療補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	愛玩動物飼養管理士2級 教本			
	著 名	愛玩動物飼養管理士認定委員会			
	出版社	公益社団法人日本愛玩動物協会			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<授業の目的・目標> 犬・猫を基本とした動物と人との関係、動物に関係する基礎知識を学習する。					
<授業の概要・授業方針> トレーニングや訪問活動を含む全ての活動において動物との正しい係わり合い方を理解する。					
<成績基準・評価基準> 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>					

授業科目名		動物人間関係学
回	授 業 内 容	備 考
1	授業日程の説明等	
2	日本における動物の飼養	
3	「動物観」とはなにか	
4	日本人の動物観	
5	ペットを取り巻く現代事情	
5	動物との関わり方を考える新しい試み	
6	動物虐待と対人暴力の連続性「LINK」	
7	アニマルホーディング	
8	動物が子供と高齢者に与える影響	
9	AAA(動物介在活動)	
10	AAT(動物介在療法)	
11	AAE(動物介在教育)	
12	動物の専門家としての関わり	
13	アニマルウェルフェア(動物の福祉)とは? 動物実験について	
14	アニマルアドボカシーとアニマルライツについて解説する	
15	老犬介護について考えよう	
16	ペットロスについて考えよう	
17	前期のまとめ	
18	学校における動物の飼育	
19	動物愛護の今後の展望	
20	学習と知能	
21	複雑な学習と知能	
22	「イヌその秘められた力」の視聴	
23	「イヌその秘められた力」の振り返り	
24	「ネコの不思議」の視聴	
25	「ネコの不思議」の振り返り	
26	「不自然な進化」の視聴	
27	「不自然な進化」の振り返り	
28	「進化」とは	
29	野生動物との関係を考える	
30	後期試験対策	